

伊達家のふるさと文化フォーラム

参加無料

日時 平成22年10月6日(水)午前10時より

場所 高畠町浜田広介記念館ホール

限定先着
200名

高畠町一本柳 2110 電話 0238-52-3838

第1部 『政宗の文芸』 武芸だけではなく文芸にも秀でた政宗公

伊達家が嗜んだ連歌とは何か

戦国武将はなぜ連歌を巻いたのか

講師 『政宗の文芸』『連歌とは何か』の著者 筑波大学教授 綿抜豊昭 氏



綿抜 豊昭

俳句の源『連歌』について
勉強してみませんか



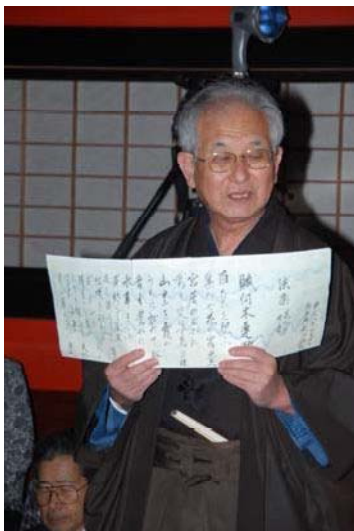
中世人がもっとも
愛した文芸の全貌

歴史書によく連歌という言葉が出てまいります。有名なのは本能寺の変の前日、明智光秀が『時は今日が下る五月かな』と歌った連歌会です。連歌は中世から江戸時代まで盛ん行われていました。伊達家はもとより、上杉家、最上家でも盛んでした。なぜ武将たちは連歌を巻いたのでしょうか

第2部 現代によみがえる連歌！

現代の連歌会『亀岡文殊堂奉納連歌会』の実践紹介と連歌の全容を解明

400年の時空を超えて『政宗公』も元和8年(1622年)8月15日 月見の会連歌会での発句



ちさと よは
『千里までその名やするき夜半の月』で参加。

講師 連歌指導の第一人者 帝塚山学院大学
名誉教授文学博士 鶴崎 裕雄 氏

◎ この事業は 『置賜文化フォーラム』の共催事業です。

主催 一般社団法人高畠町観光協会

〒999-2173 山形県高畠町大字山崎 200-1

電話 0238-57-3844 fax0238-57-4178

☆お申し込みは電話かFAXで受け付けています。